

加古川専売所通信 11月号 2019

神戸新聞NEXTよりピックアップ

当店スタッフがこれぞ神戸新聞ならではの！と思った連載記事や、繰り返し読んで欲しいオススメ記事などを紹介します☆
「こんなニュースあったあった!」「へーそんな事もあったんか!」と気楽にお読みください♪

2019年10月2日

兵庫の味 3点入賞

地域の農林水産物を生かした産品を表彰する本年度の「フード・アクション・ニッポン アワード」で、兵庫県内から「加古川バスタ」など3点が入賞し、全国の入賞産品を使った定食などが1日、東京都内のカフェに並んだ。



2019年10月12日

市広報紙別冊を初発行

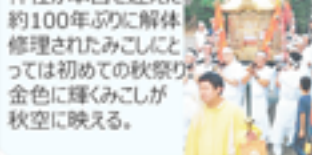
加古川市は、広報紙「広報かこがわ」の別冊としてタブロイド判の「Kakō(カゴ)」を初めて発行した。



2019年10月28日

金色に輝き勇壮練り

秋祭りシーズンを終盤となった27日、播磨町本荘4の阿閑神社が本宮を迎えた。約100年ぶりに解体修理されたみこしにとっては初めての秋祭り、金色に輝きみこしが秋空に映える。



2019年10月2日

いとこペア 全国春夏連覇

小学生ソフトテニスの全国大会で、明石ジュニアソフトテニスクラブの中谷ももこさん(12)＝加古川市立浜の宮小6年＝と前川愛生さん(12)＝明石市立二見西小6年＝が、女子ダブルス部門で春夏連覇を成し遂げた。県代表として団体戦でも優勝した2人は「プレッシャーもあったけれど、結果が出てよかった」と笑顔を見せた。

【中略】中谷さんと前川さんはいとこ同士で、2、3歳の頃から競技を始めた。昨年からはペアを組み始め、週6日は練習に励む。今年3月の「全国小学生ソフトテニス大会」では、全9試合を通じてたった1ゲームしか落とさずに全国制覇するなど、抜きでた実力を誇る。

今回の「全日本小学生ソフトテニス大会」(7月、栃木県那須塩原市)の女子ダブルス部門には、全国192ペアが出場。2人は「大会を通じて1ゲームも落とさず優勝すると高い目標を設定して臨んだ。」

5回戦まで全てのゲームを制して白星を重ねたが、準決勝で石川県のペアに苦戦。4ゲームを終えて2-2の同点となり、「相手のボールが速く、負けたらどうしようと思った」と中谷さん。

それでも、中田克哉監督(30)から、相手の利き手と反対側を狙うことで強いスマッシュを封じるようアドバイスされ、調子を取り戻した。逆転勝利し、続く決勝戦も1ゲームも落とさずに優勝。春夏連覇を決めた。中谷さんは「ほっとして自然と涙が出てきた」と振り返る。

さらに、2人は同大会の団体戦にも出場。

兵庫県選抜の8選手で戦い、2大会連続4回目の優勝を果たした。

前川さんは「みんなを引っ張らなきゃ、という気持ちがあった。」

最高の気分と振り返った。2人は、来年春の全国大会にも出場予定。6年生にはダブルス部門がなく、それぞれシングルスで出場する。

中谷さんと前川さんは「頑張り勝ち抜いて、私たち2人で決勝を戦いたい。そのために一生懸命練習する」と意気込んでいた。



オススメ! 連載記事

10月下旬から約3週間朝刊社会面にて
ほぼ毎日掲載中!

2019年11月5日

いのちとわがもの物語

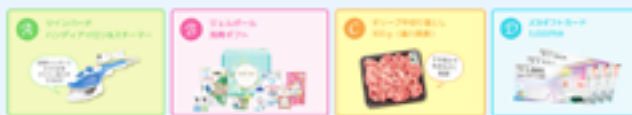
地域で見守り合う関係を

私たちは滋賀県東近江市の旧永源寺町にいます。広い空に鈴鹿山脈。鳥のさえずりが耳に心地いい。人口は約5200人。郵便局や信用金庫が並ぶまちの中心部に、3階建てのコミュニティーセンターがある。その一室に、介護施設の制服を着た女性や市役所の職員ら300人ほどが集まった。医療や介護の専門職に民生委員やボランティア、住民も加わった「チーム永源寺」の会議だ。何か特別な話し合いが持たれるわけではない。いざというときに助け合えるよう、月に1回、顔を合わせる。この日の会議は40分ほどで終わった。大半の時間を割いて、作業療法士の男性が運動習慣の大切さを説いた。終了後、参加者同士がしばらく立ち話を続ける。輪の中に、よく日焼けした男性がいる。センターのそばにある東近江市永源寺診療所所長の花戸貴司医師(49)だ。「地域のボランティアや民生委員と、僕ら医療や介護関係者の間にはどうしても壁ができてしまう。でも普段から顔の見える関係だと、何かあってもすぐに連絡し合えるわけですと教えてくれる。【中略】滋賀県長浜市の出身で、県内の総合病院で5年ほど働き、2000年に永源寺診療所へ着任した。赴任当初は病院時代と同じように、白衣で診察し、薬も処方した。「でも、なんか違和感があって、うまくいかないなと感じていました」と振り返る。訪問診療で地域を巡ると、その理由が少しずつ見えてきた。患者は畑に出たり、楽しそうに世間話をしたりしている。おかずを持って様子うかがいに来る近所の人がいる。住民同士で互いを気に掛けている。「1人暮らしや認知症の人は、医者の往診だけではカバーできないですよ。地域全体で見守りあるような関係が欠かせない。【後略】」

かこがわ暮らしの情報掲示板

神戸新聞社

播磨製作センター完成記念

読者紹介
キャンペーン
実施中!ご愛読者のみなさまへ
ご家族・ご友人をご紹介ください!あなたの周りに神戸新聞購読をお考えの方はいませんか?
紹介して下さったあなたへ素敵な商品を差し上げます!

当店もしくはお近くの神戸新聞販売店へご連絡ください。

株式会社 加古川専売所 加古川市米田町平津46-18 mail:kakogawa.senbaisho@gmail.com

TEL079-432-6888 FAX079-432-7991

HPはこちらから☆

すたっふのつぶやき
@kakogawasenbaisho

販売店のスタッフいち押しのお店を紹介する「本誌販売店いち押し情報」。当店からは2店舗紹介させて頂きました☆気になる方はぜひ10月30日と11月6日の東播磨をお読みください!

1 4 14